

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

観光産業科学部 観光科学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

平成 25 年の訪日外国人旅行者数は 1,036 万人となり、初めて年間 1,000 万人を突破しました。また、平成 26 年は前年比 29.4%増の 1,341 万人となり、2 年連続で過去最高を更新しました。こうした急速な訪日外国人旅行者の伸びは、円安の影響や近隣諸国の経済成長に加え、ビジット・ジャパン (VJ) 事業を始めとする官民一体となった様々な取り組みが成果となって現れたものと考えられます。

次の文章は、平成 25 年度に実施された訪日プロモーションについて書かれた英文の一部です。英文を読んで、以下の各問に和文で答えなさい。

問題文において、語句右上に数値が記してある語句は、文末に注釈が記されているので参考にしなさい。

問1 以下の英文の論旨に沿いながら、VJ 事業において訪日プロモーションがどのように実施されているか、事例を挙げながら、400 字以上、500 字以内で具体的に説明しなさい。

問2 訪日外国人の地方への誘客や訪日時期の分散を図るために、今後具体的にどのような訪日プロモーション活動が必要と考えられるか、以下の英文の論旨を踏まえながら、500 字以上、600 字以内であなたの考えを述べなさい。

非公開

非公開

(出典：「White Paper on Tourism in Japan,2014」 pp.21-22 『観光庁ホームページ』
<<http://www.mlit.go.jp/kankocho/en/siryou/whitepaper.html>> より抜粋・一部改変)

<注釈>

- 1) specific 具体的な
- 2) launch 開始する
- 3) implement 実施する
- 4) priority 優先的な
- 5) budget 予算
- 6) prioritize ～を優先させる
- 7) raise awareness 認知度を高める
- 8) travel agency 旅行会社
- 9) detour ～に迂回する
- 10) open-air bath 露天風呂
- 11) decade 10年間

- 12) meet the needs ニーズに合わせた
- 13) Tateyama Kurobe Alpine Route 立山黒部アルペンルート
- 14) Niseko 北海道ニセコ町
- 15) All Japan structure オールジャパンの体制
- 16) strengthen 強化する
- 17) municipality 地方自治体
- 18) tourism-related organization 観光関係団体
- 19) diplomatic missions abroad 在外公館
- 20) the private sector 民間企業
- 21) the great East Japan earthquake 東日本大震災
- 22) the Fukushima No. 1 nuclear power plant 福島第一原子力発電所
- 23) decline 落ち込み
- 24) contain くい止める
- 25) provision 発信
- 26) countermeasure 封止策
- 27) harmful rumors 風評被害
- 28) radiation-contaminated water 原発汚染水
- 29) Japan Tourism Agency (JTA) 観光庁
- 30) Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT) 国土交通省
- 31) move forward 繰り上げる
- 32) take the initiative 主導する
- 33) conduct ～を行う
- 34) inspection tour 視察旅行
- 35) regardless of ～を気にかけない

平成28年度入学試験問題（推薦入試Ⅰ）

小論文

観光産業科学部 観光科学科

出題の意図

観光科学科では、入学者選抜の基本方針を「知的能力にすぐれ、観光分野に関心が高く、意欲的な人材を選抜するため多様な選抜方法を実施します。選抜の基本方針として、学力についてはとくに英語をはじめとする語学運用能力を重視します。」としている。また、求める学生像（アドミッション・ポリシー）を「地域及び広く社会に貢献しようとする人材を求めています。外国運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍しようとする人を求めています。」としている。この小論文の出題の意図は、以上の基本方針及びアドミッション・ポリシーに則り基礎的な英語の読解能力を測るとともに、観光分野に対する問題意識や自分の意見を論理的に説明する能力を確認することにある。